

# 春日井市における 地域包括ケア団地モデル事業の取組



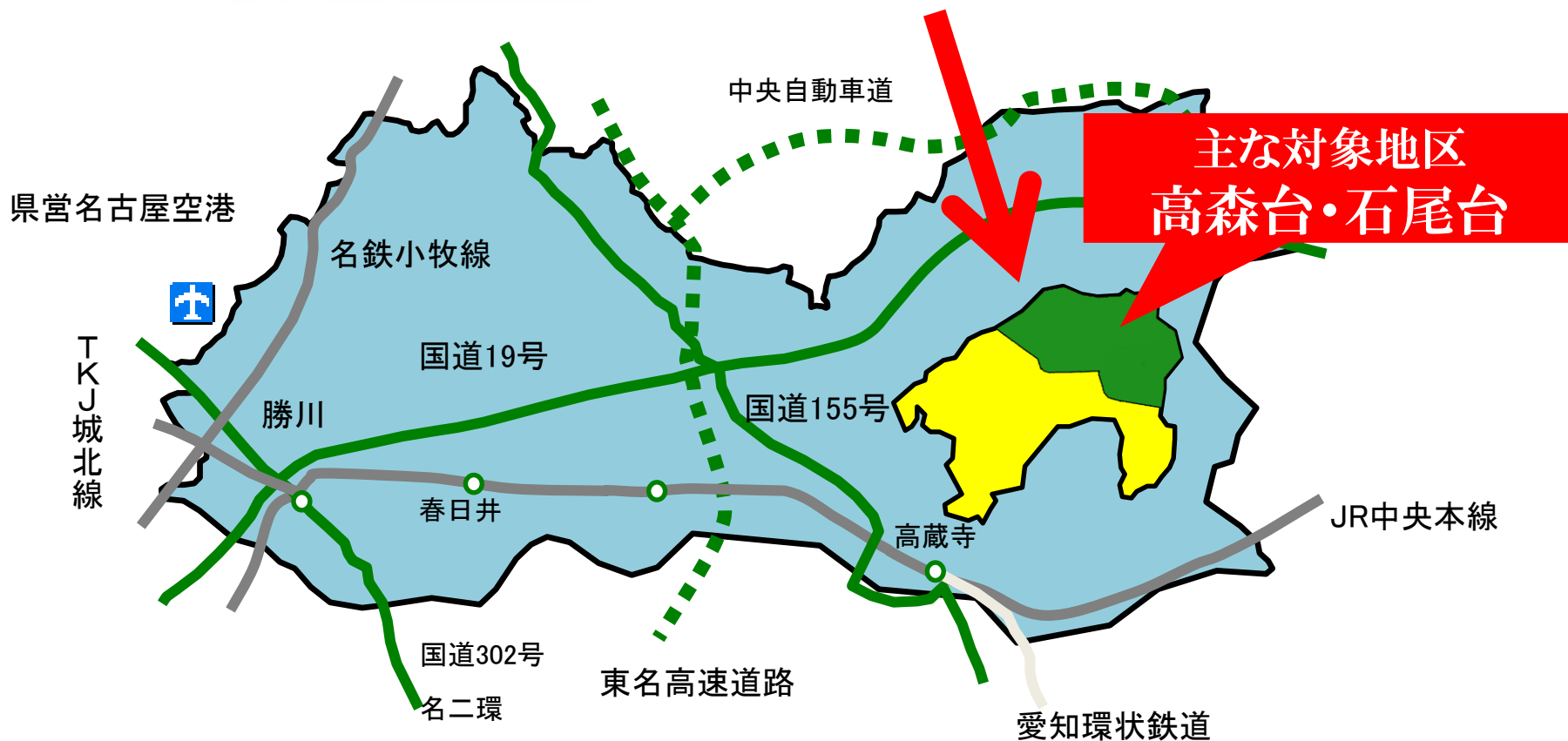
# 1. 対象エリアの状況



# (1) モデル事業の実施地区と状況

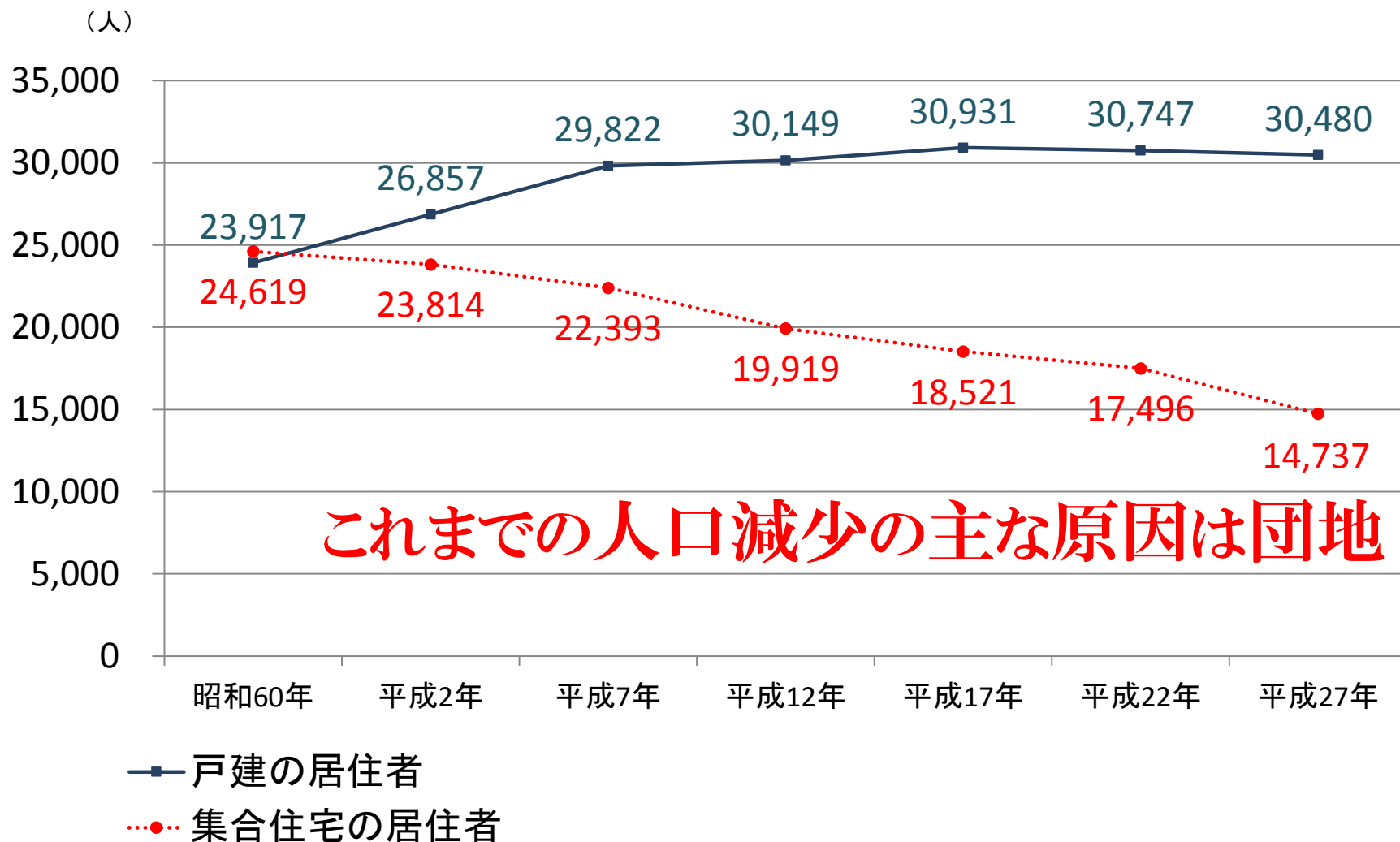


## 高蔵寺ニュータウン



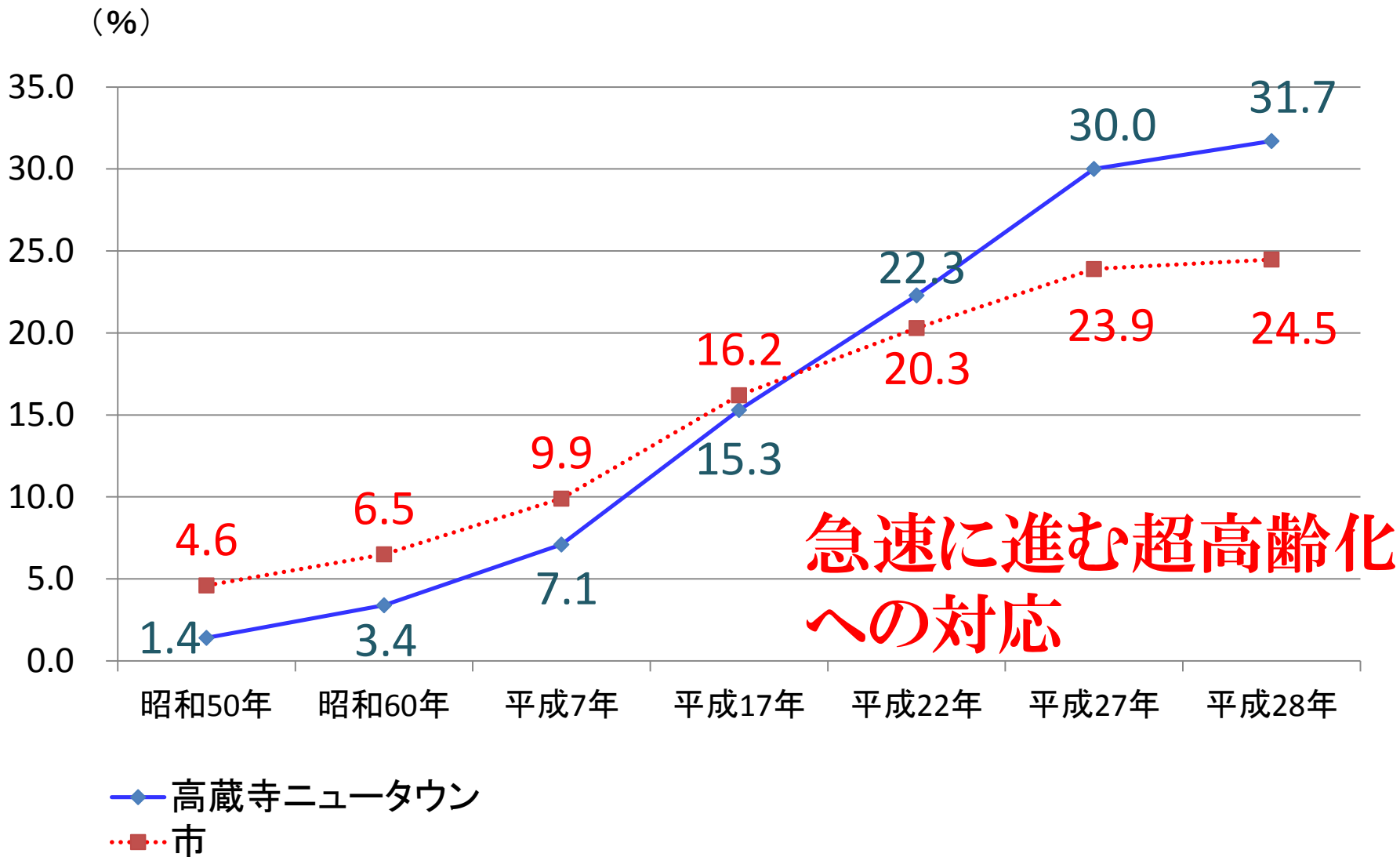
# 1

## 高蔵寺ニュータウンの 戸建・集合住宅別の人口の推移



# 2

## 高蔵寺ニュータウンと春日井市の 高齢化率の推移



## 3

## 石尾台・高森台地区の人口

(総人口・人口：人)

地区		石尾台	高森台	高蔵寺NT	春日井市	愛知県
総人口		4,722	9,026	43,831	311,236	7,483,128
65歳以上	人口	2,088	2,760	13,891	76,204	1,760,763
	高齢化率	<b>44.2%</b>	30.6%	31.7%	24.5%	23.5%
65～74歳	人口	1,370	1,628	8,481	43,247	962,843
	比率	29.0%	18.0%	19.3%	13.9%	12.9%
75歳以上	人口	718	1,132	5,410	32,957	797,920
	比率	15.2%	12.5%	12.3%	10.6%	10.7%

※平成28年4月1日現在

## (2) 地域包括ケア団地モデル構想



### ① 目指すべき 団地モデルの姿

- 県が地域包括ケア団地モデル検討会議を開催（平成27年度）
- 目指すべき団地モデルの姿と取組・工程表

### ② 地域包括ケアの 拠点施設

- サービス付高齢者住宅の誘致（県有地の活用）
- URの団地再生事業（医療・介護、子育て支援等のサービス拠点）

### ③ 地域包括ケア 団地モデル事業

- 高齢者が安心して暮らせる住まい等の確保
- 多世代交流の推進
  - ・ 居場所の確保
  - ・ 多世代との交流機会
  - ・ 健康づくり・介護予防
  - ・ 生きがい就労、ボランティア活動の創出

## (3) 高蔵寺リ・ニュータウン計画



### ① 高蔵寺ニュータウンの未来を創造するプラン

- まちづくり推進部にニュータウン創生課を設置
- 先導的な主要プロジェクトと課題に応じた主要施策



### ② スマートウェルネスを目指した団地再生

- UR、県有地等に医療・福祉施設の誘導
- 高森山周辺でウオーキング等のスポーツ・健康づくり機能



### ③ 地域包括ケアの推進

- 地域包括支援センターの設置(旧藤山台小学校施設の活用)
- 住民相互の見守りや支え合い等の互助の推進
- 既存団地や空き家等を活用した介護施設等



# 2. 取組状況

春日井広報大使・北京オリンピック シンクロナイズド・スイミング日本代表

松村亜矢子さんが紹介する

## 「高蔵寺」「高蔵寺ニュータウン」の魅力



高蔵寺ニュータウンで生まれ育ったので、シンクロナイズド・スイミングの選手として各地を転戦していた頃は、ニュータウンの緑を見ると、「ああ、帰ってきたな」とホッとしていました。そして、次も頑張ろうと気持ちをリセットできる。ニュータウンは、私にとって「癒やしのまち」です。

大型ショッピングセンターや東部市民センター、東部子育てセンターなど、ニュータウンには日々の生活に欠かせない施設も充実しています。高蔵寺駅からは、JR中央本線で名古屋、多治見方面へのアクセスが快適なのはもちろんですが、愛知環状鉄道を使えば、瀬戸～豊田・岡崎方面に出かけるのも便利。

まさに「まちと自然がちょうどいい」暮らしやすさが魅力ですね。

高蔵寺ニュータウン未来プラン策定検討委員会の委員として、10年先、更にその先を見据えて、高蔵寺駅周辺やニュータウンのことを考えてきました。駅周辺やニュータウンが、これからも活気にあふれたまちであるために、よりよい変化が必要です。スポーツに携わってきた者として、また、現在、中部大学で健康に関わる指導をする立場から、このまちに暮らす皆さんの健康寿命を伸ばすための健康施設の整備も提案しました。

生まれ変わる「高蔵寺」、「高蔵寺ニュータウン」。その変化を住民の皆さんと一緒に楽しみたいと思っています。

# (1) モデル事業の推進体制

## 地域包括ケア団地モデル事業推進連絡会議

### 居場所づくり部会

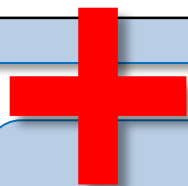
- 区・町内会・自治会
- 地区社会福祉協議会
- UR
- ニュータウンセンター開発

### 多世代交流部会

- 老人クラブ
- 民生委員・主任児童委員
- 学校長 ●NPO法人
- 市社会福祉協議会
- 福祉施設の長

### 介護予防・日常生活支援部会

- 医師会
- 歯科医師会
- 薬剤師会
- 中部大学
- NPO法人



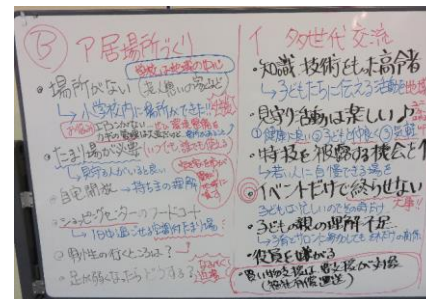
- **生活支援コーディネーター**
- **事業推進員（地域包括支援センター）**

## (2) 地域包括ケアの進め方等の検討

### 全体会議



### グループワーク (全体会議)



### 居場所づくり部会

誰もが気軽に集まれる身近な居場所が必要

#### 【提案】

- UR団地内集会所の無償利用
- 空き家、学校の教室、老人憩いの家などを活用した居場所づくり
- 居場所での出張相談

### 多世代交流部会

「地域力」を高める仕組みプログラムが必要

#### 【提案】

- 福祉施設と地域の合同防災訓練
- 高齢者の特技を活かし多世代交流
- 地域における「支える、支えられる」仕組みづくり

### 介護予防・日常生活支援部会

外出することが介護予防の第一歩

#### 【提案】

- 公園に健康器具(コグニサイズ)
- 団地、老々介護へのアプローチ
- 認知症徘徊の搜索ネットワーク
- 在宅訪問時の駐車場対策

## (3) モデル事業の取組

事業区分	事業内容
1. 居場所づくりと地域活動の活性化	<p>ア 空き家や既存の拠点施設等を活用し、居場所づくりの環境を整備し、住民主体サービスや地域活動の活性化を図る。</p> <p>イ URと連携したサロン活動など居場所の確保</p>
2. 多世代や地域における支え合い等の普及啓発	<p>ア 多世代の支え合い等の住民啓発</p> <p>イ 地域住民参加型防災訓練により、災害時の協力体制の構築を図る。</p> <p>ウ 地域での支え合いと元気な高齢者の社会参加の推進</p> <p>エ 小中学生や高校生に対し、職業体験や福祉を学習する機会などを設ける。</p>
3. 高齢者と子どもの「縁活」応援事業	<p>高齢者の特技を活かし、子どもの家や高齢者サロン等で高齢者と子どもの交流を行う。</p>
4. 健康づくり、介護予防の実施	<p>健康づくり教室を開催し、気軽に認知症予防に取り組める環境を整備</p> <p>身近な公園にコグニサイズができる環境を整備</p>
5. 相談窓口の設置	<p>高森台・石尾台地区の居場所等で地域包括支援センターによる定期的な相談窓口を実施する。</p>
6. 外出支援への取組みの実施	<p>ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の外出を支援するため意向調査を実施し、支援方法などを検討する。</p>
7. ハートフルパーキング登録制度	<p>訪問診療、訪問介護等の医療・福祉関係者や市職員が訪宅する際の駐車場を確保する。</p>
8. 地域の見守り活動の推進	<p>認知症高齢者の行方不明者の捜索などの訓練をICT(スマートフォンのアプリ機能)を活用して実施し、地域の見守り活動を推進する。</p>

# ちょっとお助けサービスの協力者募集

日常生活上のちょっとした困り事をお手伝いする「ちょっとお助けサービス」に関する内容の講座を参加費無料で実施(材料代のみ徴収)し、参加者からサービス協力者を募集



DIY教室

平成29年9月14日：参加者12名 登録者1名



片付・収納講座

平成29年10月4日：参加者25名 登録者1名  
平成29年10月18日：参加者23名 登録者1名

- ・講座参加者から、協力者の登録に繋げることができ、一定の成果を上げることができた。
- ・協力者登録に対して、前向きな回答を示す参加者が多い一方、近隣へサービスを実施する制度への抵抗感などもあった。

# 地域包括支援センター出張相談窓口

地域包括支援センターが、地域で定期的に相談窓口を実施



実施場所	高森台団地南集会所	緑ヶ丘老人憩いの家
開設日	第2・第4土曜午前	第2土曜午後
のべ利用者数	21人	56人
形態	単独	サロン併設

- ・普段、相談できない層の人が相談できる機会となった。
  - ・地域に出て事業を行うことで、地域関係者との連携の機会が増えた。
  - ・近隣にあることが、利用のしやすさにつながるようになった。
  - ・開設日が限定的なため、集中的・継続的に相談業務を行うことが困難であった。
- 常設だと良いが、人員配置やコスト的な課題がある。
- ・利用者用駐車場の完備や個室だと良いという意見が利用者からあった。

# 高齢者と子どもの「縁活」応援事業

老人クラブなどが特技を活かして、子どもの家で高齢者と子どもの交流を実施



実施日	内容
平成29年8月2日(木) (夏休み)	ペーパークラフト コース
平成29年11月25日(土)	ペーパークラフト
平成30年3月27日(火) (春休み)	凧作り、凧揚げ

- ・多くの子どもと高齢者が交流することができた。
- ・実施の内容や場所、対象とする子どもなどの検討が難しかった。
- ・材料費などの費用をどのように捻出していくかが課題である。

# コグニサイズ普及事業

地域の公園3箇所に  
コグニラダーを設置



広報大使等を活用した  
健康教室



北京オリンピック  
シנקロナイズドスイミング日本代表  
春日井市広報大使  
特別講師 松村 亜矢子氏

## 歩こうマップの作成～コグニサイズ体験コース～

12 東部市民センター ← 4.3km (65分) → 高森山公園  
(後田公園・高森山公園・石尾公園を巡る)  
「コグニラダー」を使ったコグニサイズが体験できる豊富なコース



認知症予防につながる運動～コグニサイズ～  
コグニラダーを使ってみよう！

認知症予防に効果があるといわれているコグニサイズを行うための  
コグニラダーを市内3か所の公園に設置しました。

【設置公園】

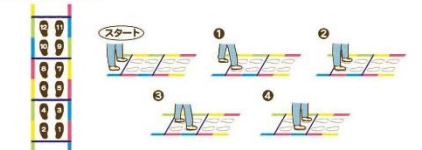
- ① 後田公園(高森台3)
- ② 高森山公園(高森台8)
- ③ 石尾公園(石尾台2)



コグニサイズは、コグニション(認知)とエクササイズ(運動)を組み合わせた運動で、  
運動に含めて、認知課題(計算・しりとりなど)に取り組む。脳と体の機能を向上  
させることを目指し、国立長寿医療研究センターが開発しました。  
コグニラダーとは、コグニサイズを行う際に使用する道具の一つです。

基本

コグニラダーを使った歩き方の基本は1マスに4歩ずつ右足から入ります。  
慣れてきたら速くやってみよう。



コグニサイズ

ラダーの歩き方の規則をいろいろ変えて、  
無理なく楽しもう！



無理をしないでケガのないよう  
準備運動をしてください。

コグニサイズは、認知課題を上手に  
行うことではありません。  
認知課題を得意なことから内容を  
変え、認知課題を慣行課題にな  
がら楽しんで行うことで効果が  
上がります。  
ぜひ、取り組んでみてください。

・サロン活動での実施や老人クラブ内にコグニサイズの会が発足するなど、コグニサイズを定期的に実施するきっかけにつながった。



# 「オレンジセーフティネット」の試行

スマートフォン用アプリを利用した認知症高齢者の徘徊時の搜索協  
カシステムの模擬訓練を実施



登録された顔写真や名前、年齢、体格などの人定情報と暮らしている自宅や施設などの位置情報を協力者に配信  
「マップ機能」や「トーク機能」で情報を共有しながら搜索

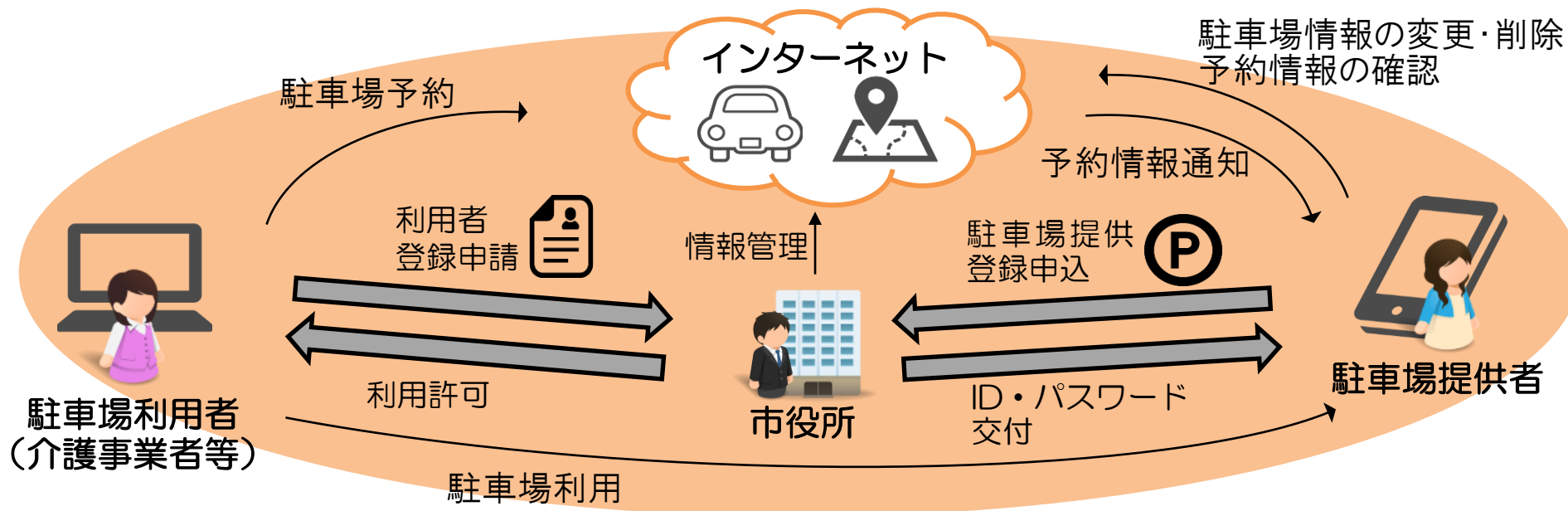


- ・市域を越えて、オンタイムで情報を共有することでき、効果はあったと感じた。
- ・個人情報を取り扱うため、慎重な運用が必要である。

# 「ハートフルパーキング」登録制度



駐車スペースのないお宅に訪問する介護サービス事業者等とその周辺の無償で利用可能な駐車場をインターネット上の駐車場予約システムでマッチング



- ・介護事業者から、とても良い制度であり制度の周知に向けて協力したいとの声があった。
- ・駐車場提供の意思はあったが、インターネットの利用が困難で提供を控える人がいた。
- ・駐車場提供者をどのように確保していくが課題である。

# UR団地集会所の無償利用

団地居住者以外でも、サロン活動でUR団地集会所を利用する場合は、無償で利用可能



- ・無償で利用できる場所が増え、サロン活動をしやすくなった。
- ・集会所までの距離や駐車場が整備されていないなどの問題があり、今後の利用登録団体の確保が課題である

## 地域防災フェスティバル



□障がい者施設で地域住民に向けた防災フェスティバルを実施

災害用車両の展示、炊き出し試食、地域の中学生などによるステージなどで交流

参加者 291名

- ・地域住民に施設を知ってもらうとともに、交流することができた。
- ・天候が悪く、集客が予想より伸びなかった。

## 地域ふれあい健康講座



□中部大学の保健師課程学生が、地域関係者へのヒアリングをもとに、地域ニーズに沿った健康講座を実施

○高森台集会所 11名

○石尾台集会所 13名

- ・地域住民と学生が交流できる良い機会となった。
- ・ヒアリングを基に内容を企画したため、地域住民の興味のある内容が実施できた。

## 学生による福祉施設で職業体験



□中高生が地域の福祉施設で職業体験を実施

	養楽荘	どんぐりの森
高蔵寺高校	2人	3人
高森台中学校	4人	3人
石尾台中学校	6人	8人

- ・学生に施設や仕事などを知ってもらうことができた。
- ・利用者に風邪等をうつさないように、学生の体調に気がつかった。

## ついでにゴミ出し 事業



□ゴミ出しに不自由している高齢者とごみステーションまでごみを運んでくれる地域住民をマッチング

高森台 1名

・対象者を発掘するのが困難であった。(既存サービスの適用から漏れている人)  
・協力者の固定化による負担などが課題である。

## 居場所整備



□地域の居場所に、地域の人が集まりやすい環境を整備するために備品を整備

・サロン活動や地域の人が集まりやすい環境となった。  
・限られた人の利用になっているため、多くの人に広がるよう工夫が必要である。

## 外出意向調査



□団地高齢者を対象に、アンケート調査を実施  
「外出をしたいができていない」傾向があり、地域包括支援センターの関与が今までにない人に地域包括支援センターがアプローチ  
アンケート 694名(うち訪問 6名)

・アンケートと訪問の聞き取りで回答が異なり、外出支援を必要とされなかった

# 3. 今後に向けて

**ギョツとCITY高蔵寺**  
中部大学生発「高蔵寺の魅力発信レポート」WEB版

データで見る高蔵寺 >

子育ては春日井・高蔵寺 >

大人世代にも優しい高蔵寺 >

高蔵寺ぶらり散策  
まだある高蔵寺の魅力

# モデル事業2年間の振り返り

---

## 1年目（実施内容についての検討）

推進連絡会議において、グループワークを実施し、**地域課題の抽出や検討**を行い、実施する取組を決定した。決定した取組は、関係団体と調整を行い、翌年度の実施に向けて準備を行った。

## 2年目（取組の実施）

各取組について実施した。実施した取組については全体会議でフィードバックし、**PDCA**により実施をした。

○様々な地域関係者との関係づくりができた。

○もともと地域活動の活発な地区であり、地域関係者の理解や積極的な協力を得やすく、実施しやすい環境であった。

# 今後の対応

モデル事業で実施した取組の**継続的**な実施と他  
地区への**水平展開**するための地域づくり





# 実施に向けての提言

---

地域での取組を実施するには、実施主体となる地域関係者との連携・協力が必要なため、情報の共有化や協力体制の構築が不可欠

- 市の**方向性**の明確化と共有化
- 地域関係者との**関係作り**
- 取組が**継続**される体制づくり
- 実施主体の役割分担等の**負担軽減**

<問い合わせ先>

486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地  
春日井市 健康福祉部 地域福祉課  
福祉企画担当 森・林

TEL : 0568-85-6184

FAX : 0568-84-5764

E-mail : [chiikifk@city.kasugai.lg.jp](mailto:chiikifk@city.kasugai.lg.jp)



書のまち春日井「道風くん」